

### 学院の近況

薄暑の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

この4月に学院長として着任し、早くも2か月が過ぎました。30年ほど前に道立江差准看護学院（H10から江差高看に移行）での勤務経験がありましたことから、これまでは学院のことを外から気に掛けてまいりましたが、これからは学院長の立場で、引き続き、ハラスメントの再発防止や学院の信頼回復に努めるなど、学生の皆さんが学びやすい環境を整えてまいります。

さて、今年度の入学者数は4名と、過去最少となり、2年生は6名、3年生は7名の合計17名でのスタートです。全道的にも3年課程の看護師養成施設は、少子化や大学志向の高まりなどの影響を受け、定員充足率の低下が続いている中、本学院は平均を大幅に下回っている状況にあります。

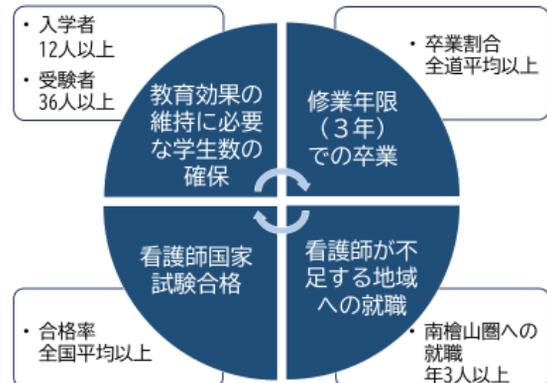
今年度は、教員10名（副学院長1名、教務主幹1名、教務主査2名、講師6名）で教務に当たりますが、学生数が少ないことで丁寧に指導が行えるといったメリットがある一方で、少人数では演習形式の授業が難しいといった課題があることから、学年を越えた学生間の交流や地域活動への参加などを通じ、学生の学びが深まるよう工夫を重ねていきたいと考えております。

また、多くの方々に江差高看を受験したいと思っていただくためには、魅力あるカリキュラムを提供していくことが重要と考えており、檜山地域の特性や道立施設としての強みを活かし、様々な体験を積めるよう、今年度も次の実習を行うこととしています。

- 【1年生】奥尻島での生活を学ぶ実習
- 【2年生】道立江差病院を中心とした医療連携や、江差町内の多職種連携の実践を学ぶ実習
- 【3年生】札幌医科大学附属病院や道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル）など、高度医療と地域医療との連携を学ぶ実習

学生や教員の確保など、学院を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いておりますが、令和6年度学校関係者評価会議（R6.5.31開催）で承認いただいた重点目標を踏まえつつ、地域に開かれた学院運営に努めてまいりますので、引き続き、保護者の皆様、地域の関係者の方々のご理解とご協力をお願いいたします。（学院長：タ下 司）

#### 令和6年度重点目標



### 4/1付けで新しく着任した職員を紹介します

#### 【学院長 タ下 司（ゆうしたつかさ）】

道本庁保健福祉部子ども政策企画課からの異動で当学院に着任しました。道本庁保健福祉部各課、振興局や保健所など、様々な分野や地域でのこれまでの勤務経験を活かし、学生の皆さんが安心して学ぶことができる環境づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

#### 【講師 加藤 直美（かとう なおみ）】

初めまして。この4月よりご縁をいただき生まれ育った町、母校である学院で勤務させていただくこととなりました。町の保健師として従事した経験を学生の学びに役立てられるよう精進し、学院に貢献したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

# 令和6年度 学校関係者評価会議を開催しました

「北海道立江差高等看護学院における学校評価に関する規程」に基づき、下記のとおり開催しました。

- 日 時 令和6年5月31日（金） 15時～16時
- 場 所 江差高等看護学院
- 構成員 学識経験者、保健医療福祉関係者、教育関係者、保護者、学生、同窓生、地域住民等
- 内 容 令和5年度自己評価結果、令和6年度重点目標、令和6年度地域型オープンキャンパス

12名中の10名の構成員の方々にお集まりいただき開催しました。座長である齋藤教授（北海道教育大学函館校）の進行の下、令和5年度自己評価結果等を報告し、各構成員の皆様からは、「学生確保は他の道立高看と協力して取り組んではどうか」、「卒業後に檜山に就職又はいずれ戻ってきてもらうために地域の魅力を伝える取組が重要」、「安心して生活できる環境（寮）のPRも必要」などのご意見があり、令和6年度重点目標を承認いただきました。

こうした様々なご意見は、今後の学院運営に反映させてまいります。（学院長：夕下 司）

## ■学院生活に関する学生アンケート結果報告■

令和6年2月に実施したアンケートの結果をお知らせします。

【実施期間】R6. 2. 20～26 【回答数】30人（回答率100%）	
【1】 学院生活が充実している（楽しい、まあまあ楽しい）	26人（86%）
【2】 自分自身に満足しているか（そう思う、どちらかと言えばそう思う）	22人（73%）
【3】 自分が役に立っていると感じるか（そう思う、どちらかといえば思う）	23人（76%）
【4】 今の自分が好きか（そう思う、どちらかと言えばそう思う）	22人（73%）
【5】 教職員の対応で不快に感じたこと	なかった 29人 あった 1人
【6】 「不快に感じたことがあった」その内容（1人）	容姿について （1月頃に1回）
【7】 ハラスメント相談員を知っている	29人（96%）

令和5年度は、4月、7月、2月の計3回実施し、結果（回答）については、学院生活の満足度は約8割、自己肯定感は7割前後で推移しています。

また、今回のアンケートで教職員の対応で不快に感じたことがあった（1人）については、具体的な場面は特定できませんでしたが、職員全体で課題意識を共有し、改めて対応の留意点を学び直すなど再発防止に努めていきます。学生の皆さんには、ハラスメントと感じた場合は、目安箱の活用や相談員に相談するよう周知しています。（学院長：夕下 司）

## ボランティア活動・地域との連携

今年度初めてのボランティア活動は、4月の江差町主催のクリーンアップ大作戦（かもめ島海浜清掃）でした。新生3名、教職員5名で参加しました。冬の厳しい日本海にあることから、大量の漂着物などあり、学生も一生懸命清掃活動を行っていました。

また、5月22日に江差町の「ネクストイノベーション」（ネクイベ）に学生3名、教職員5名で参加しました。今年度は、学院として「きずなプロジェクト（色々な人が交流できる場を作る）」、「命を守るプロジェクト（災害時の対策の検討）」を中心に活動していきます。学院からは、今年度実施予定の「江差高看まつり（地域型オープンキャンパス）」についてお知らせし、ネクイベの各プロジェクトのご協力を依頼しました。地域との連携の継続に向け、引き続き取組みを実施していきます。（副学院長：大島慎也）

## 1年生

1年生が入学して2ヶ月が経ちました。

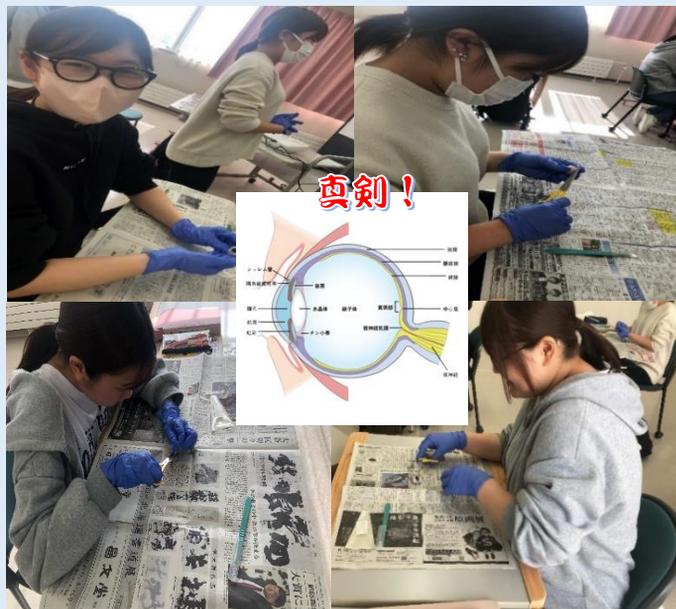
徐々に学院生活にも慣れてきています。

授業では、全国的に有名な江差追分の節まわしに苦戦し、理科の授業で鳥や豚の解剖を行い、生物の身体の仕組みを目の当たりにしました。

専門的な授業も始まり、解剖生理学では入学後初めての試験も経験しました。看護学の講義も始まり、感染予防のためのガウンテクニックや手洗い、患者様の病室を整える環境の学習など、看護の実際は興味深く楽しく学べております。

1年生は4人で少し教室が広く感じますが、学習とリフレッシュのバランスを取り、健やかに過ごして欲しいと願っています。

《1学年担当：金田いづみ》



▲ 特別講義（理科）

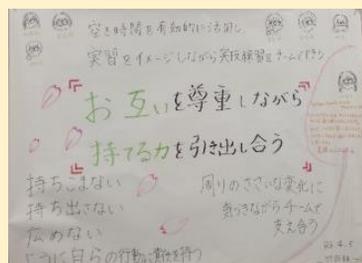
## 2年生

今年度、竹田が学年担当をさせていただくことになりました。後輩達を迎え、学院の中を案内したり、委員会活動での役割を説明している姿を見ていますと、役割に対する責任感が感じられて私自身も身が引き締まる思いをしています。昨年から学生達に「竹田組」と名付けられたクラスですが、6人それぞれがチームの一員としての自覚が強く、お互いにもいい影響を与えながら成長していることが実感できます。講義は成人・老年・小児・母性・精神の各看護方法や、地域・在宅看護論など、より具体的な知識を学ぶ学習になってきていますが、講師からの学習態度評価も良く、一生懸命さが伝わってきます。クラス学習では、それらを学ぶ上で必要な解剖生理学と疾病・病態についての復習ドリルを実施し、模試を受験する計画を立てています。

6月には基礎看護学実習Ⅱを控えています。すでに自主的に技術練習に取り組む様子が見られています。「不安だけど、実習が楽しみ」という学生達が、臨床の現場で患者さんへのケア実践を通して看護の楽しみや喜びを感じてもらえるように教員一同でサポートしていきます。保護者の皆様も、気になることや心配なことがありましたら、いつでも連絡をくださいますようよろしくお願いいたします。

《2学年担当：竹田里美》

前期クラス目標 ▶



## 3年生

最終学年となり、3年間の学びを発揮する領域実習が始まりました。実習は5月～10月にわたり、江差町、倶知安町、函館市、札幌市で行われます。実習の準備は十分か、どんな患者さまと出会えるか不安や期待で胸いっぱいの子供たちを送り出しました。

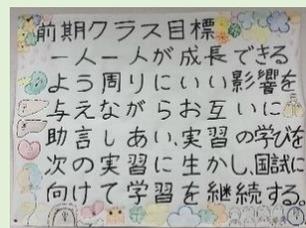
実習では、悩んだり、困難に感じる事が多くあります。そのような時こそ、一人で抱え込まずに、仲間や教員を頼りにしてほしいと思います。学生数は少ないですが、その分一人一人が役割に責任と自覚を持ち、互いを支え合えるクラスに成長していることを日々実感する毎日です。一回りも二回りも成長して戻ってくることを楽しみにしています。

そして、いよいよ国家試験の年になりました。今年度より、全員合格に向けて、教員の担当制による個別指導を開始しました。学習を進める主体は学生ではありますが、教職員一丸となり伴走者として支援できればと考えております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

《3学年担当：楠原千景》



▲ 教員からの応援



▲ クラス目標



# 令和6年度 第1回「ほめ活」の結果



今年度1回目の「ほめ活」です。

4月22日～30日を「ほめ活ウィーク」として実施し、2・3年生はもちろん、入学間もない1年生も全員参加してくれました。

5月22日の表彰式では、大賞や敢闘賞、個人賞などで学生全員を表彰しました。今回も教員から溢れんばかりのお菓子等の提供がありましたので、賞状と合わせて景品を学生全員に渡すことができました。

今後とも、学生及び教員がお互いの良いところを認めたりほめ合うことで、相互のコミュニケーションの活性化や自己肯定感の向上を図っていきます。次回は、10月頃に実施予定です。

(学院長：夕下 司)



学生全員を表彰!

景品は教員から提供!



ボードに貼られた「ほめカード」の総数 269枚!!

## 夕音(しおね)寮から

夕音寮の寮生は今年度12人です。開学以来あすなろさんの自助努力のおかげで食費の値上がりなく来ていましたが、学生数減少と昨今の物価高騰の影響を受け、食費の見直しがありました。ご家族の皆様には、ご負担をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願い致します。

食費に見合った満足感が得られるよう、今年度もアンケートの実施や業者との連携を図り、自治寮ではありますが、少しでも過ごしやすい生活ができるようサポートしたいと思います。(寮担当：金田いづみ)



## ハラスメント相談員

学生の皆さんがハラスメントと思われることを受けた場合や、他の人が受けている場面を見た場合は、「ハラスメント相談員」に相談してください。※誰に相談しても結構です。

【学院内】佐々木副学院長

大島副学院長兼事務長

【道 庁】保健福祉部医務薬務課

事務職：狩野(かりの)主幹

保健師：鹿野(かの)課長補佐

●TEL 011-204-5251(直通)

## 目安箱

学生の皆さんからの意見、提案、要望、質問等を積極的に聞き、内容に応じて改善に向けた検討を行います。

教員に直接言いづらい意見等がある場合は、正面玄関入口付近に設置の「目安箱」に投函してください。

※学院長が管理



## スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の学生生活をサポートします ～

- 日程 オンライン 6/20(木)、7/11(木) ※13:30～17:30
- 全員面談 7/25(木) ※3年生、1年生

●予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。

予約専用メール [sc.soudan@gmail.com](mailto:sc.soudan@gmail.com)

- ①氏名、②学年、③連絡先Tel、④希望日時、⑤希望方法、⑥相談内容



スクールカウンセラー 諏訪(すわ)先生